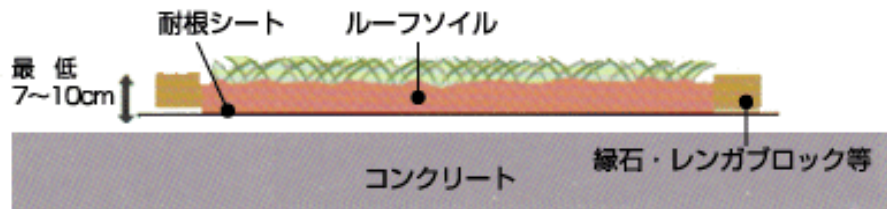


ルーフソイル工法

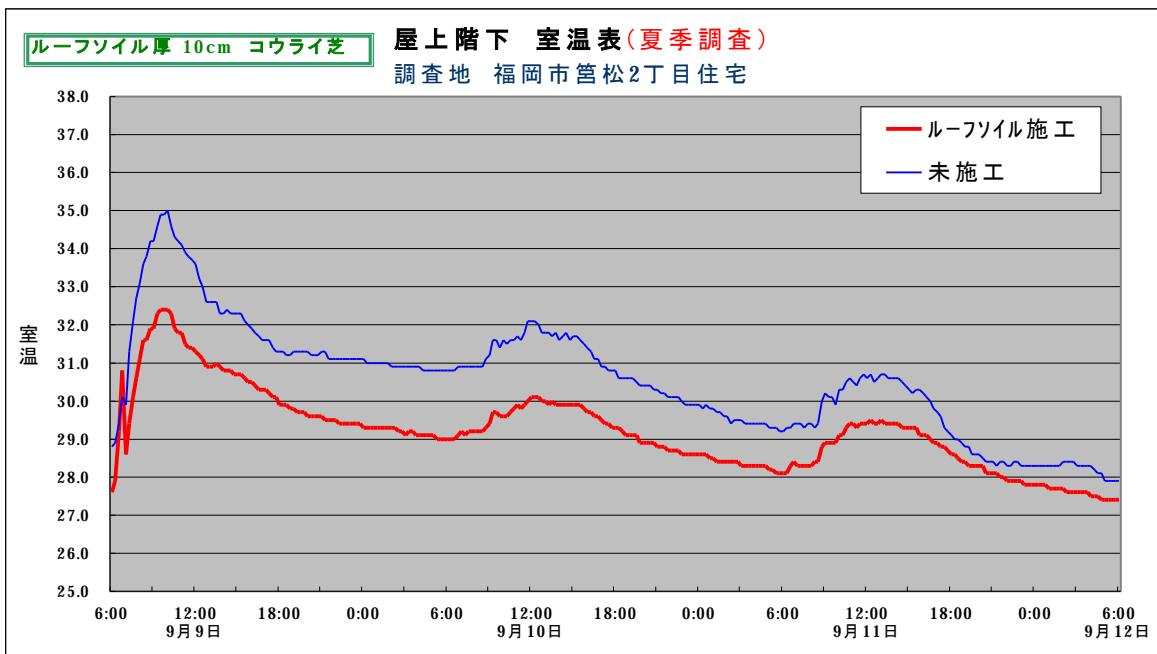


ルーフソイルは、標高 3,500m の高原（埋蔵量数十億トン）より採掘された高品質高原高位泥炭で、数万年という長い年月をかけて微生物分解された純度の高いミネラル、ビタミン、アミノ酸、腐植酸を含む植物堆積物に特殊な化学処理と BIO 処理を施したハイブリッドな緑化基盤材です。ビルの屋上やベランダ、コンクリート地面、ゴルフ場、立体構造物などの緑化に利用され、大きな成果を上げています。



芝生だとわずか**7cm**の厚みで張付ることができます。

屋上緑化を行うと、階下の部屋の室温は約2℃ほど低くなります。これを冷房費に置きかえると、1日当り6畳の広さの部屋で**54円**の節約になります。



ルーフソイルの特徴

- 通気性、水はけがよい
- 保水力、保肥力が高い(普通土壌の約 10 倍)
- 軽量である(比重 0.3~0.8kg/ℓ)
- 土状であるが粒子は流出しない(水に溶けない)
- 団粒構造を長期にわたり保つため、水と空気の浸透性がよい
- 大部分が有機質である



福岡市筥松 2 丁目住宅



産婦人科病院

ルーフソイルの効力が十分に発揮され、どの植物も発育は良好で花つきも良いのがわかります。



屋上緑化(ルーフソイル工法)の普及により、都市部のヒートアイランド現象の緩和、それと同時に屋上といった人工的な空間を、誰でも簡単に土と触れ合える『環境との共生』を目的とした空間造りを行い、日々の生活に潤いと癒しを提供することを目的としています。